

＜光りとなって生きる＞

ローマ13：11～14

わたしが自分の走るべき行程を走りつくし、主イエスから受けた、神の恵みの福音をあかしする任務を果たし終えることが出来るなら、私のいのちは少しも惜しいとは思いません。

使徒20：24

パウロの第3次宣教旅行の終盤、地中海沖にあるミレトの港に寄港し、エペソの長老たちと再会を果たし、訣別のメッセージの中で語った言葉。

マザーテレサ「多くの人が私たちの仕事を
私たちの天職だと勘違いしています。
私たちの天職はイエスの愛そのものです。」



1 「走るべき行程とは」

終末の時をどのように生きるのか、パウロはその生き方を一つのことばに凝縮した。

ほかにどんな戒めがあっても、それらは、「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」という言葉の中に要約されているからです。愛は隣人に対して害を与えません。

それゆえ愛は律法を全うします。【9、10節】

*全うするというのは器を一杯にすること

いつまでも残るものは、信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。

Iコリント13：13

私たちの本性は、どこまでいっても自己中心。相手の立場を考えられなければ、愛の関係はたやすく壊れてしまう。

イエス様と私たちの関係：ぶどうの木と枝にたとえた。

わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。ヨハネ15：5

あなたがたが行って実を結び、その実が残るように。ヨハネ15：16

実を結び、実を残す。こんな道のりを走り尽くせたら幸いだ！

わたしは苦しみの中に主を呼び求め、助けを求めてわが神に叫んだ。主はその宮で私の声を聞かれ、御前に助けを求めた私の叫びは御耳に届いた。詩篇 18 : 6

私たちが愛の行動を起こすとき、イエス様が共にその現場に行ってください。

2、を着ける

光の武器を着けよと命じているのは、戦いがあるから。

主に喜ばれることが何であるかを見分けなさい。実を結ばない暗やみのわざに仲間入りしないで、むしろそれを明るみに出しなさい。エペソ 5 : 10、11

神は、私たちを暗やみの压制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移して下さいました。

コロサイ 1 : 13

- ◆ キリストを着るというのはキリストの内にあるということ。

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。

古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。Ⅱコリント 5 : 17

新しい人は造り主のかたちに似せられてますます新しくされ、真の知識に至るのです。

コロサイ 2 : 10

ヘレンケラー 「信仰とは、荒廃した世界を光へと導く強さです」